

# くわしくは公式ウェブサイトへ!

知的書評合戦 **ビブリアバトル**

過去のプレゼンの動画  
 ビブリアバトルの歴史を  
 華々しく彩る過去の名プレゼンの  
 動画を視聴できます。

Home

Information  
 Home  
 ニュース  
 開催情報  
 歴史  
 普及委員会  
 サイトマップ

ビブリアバトルカレンダー  
 いつどこでビブリアバトルが  
 開かれているのかわかります。  
 ご近所で開催があったら  
 参加してみましょう!



<http://www.bibliobattle.jp>

twitter  
**ハッシュタグ**  
**#bibliobattle**

推奨タイマー紹介  
 5分の発表→3分のディスカッション  
 というビブリアバトルのスタイルに  
 最適なタイマーを紹介しています。

ビブリアバトル必勝の極意  
 数々のビブリアバトルでチャンプに  
 輝いたビブリアバトルの達人が、  
 必勝の極意を教えてください!

公式ウェブサイトには、  
 ビブリアバトルの紹介漫画が!



# 知的書評合戦 ビブリアバトル Bibliobattle

本を読んだら、共有する。  
 新しいかたちの読書会。



ビブリアバトルとは?  
 ビブリアバトルとは、参加者が各自  
 読んできた本を制限時間内に紹介する  
 プレゼンテーション形式の読書会。

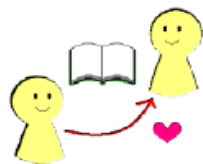
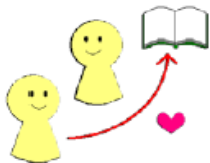


レジュメなし、パワーポイントなし、  
 本を持って集まるだけ!  
 それなのに、  
 ただの読書がスポーツに変わる!?



# 人を通して本を知る。

# 本を通して人を知る。



## ビブリオバトルの魅力

5分という長いような短いような制限時間。

あらすじだけではわからないその本の魅力を伝えるためには、プレゼンターが自分の解釈を織り交ぜる工夫が必要。本の情報だけでなく、集まった人同士の知識や関心をも共有することができます。

また、投票で「チャンプ本」を決めることでほどよい緊張感がもたらされ、プレゼンテーション能力の向上も期待できます！

## やりかたは、とっても簡単。

- ① 本を持って集まります。プレゼンターは4、5人が理想。紹介する本がない人はオーディエンスとして議論に参加します。
- ② プレゼンターが、読んだ本について5分でプレゼンを行います。ほかのプレゼンターやオーディエンスを交えた全員で3分間、ざっくばらんに議論します。本の内容やプレゼンについて質問をしてもOK。プレゼンに基づきながら各本の価値を吟味します。
- ③
- ④ 最後に全員の多数決で「どの本が一番読んでみたくなったか？」を基準に『チャンプ本』を決定します。

本と時間をはかる道具さえあれば、

いつでもどこでも誰とでも、ビブリオバトルが楽しめます。

## 京大の研究室のからはじまった。

ビブリオバトルを生み出したのは現在立命館大学准教授の谷口忠大さん。研究室内で開かれる勉強会の「輪読」や「論文紹介」といった、いまいち盛り上がらない方法に不満を覚えて考案したのが、ビブリオバトルでした。

## ひろがる、つながる ビブリオバトルの輪。



ビブリオバトルのひろがり  
京都で生まれたビブリオバトル。  
「おもしろそう!」「うちもやってみよう」とその輪は広がり、現在では大阪・滋賀・名古屋・東京…と全国各地で、

また大学の枠を越えたさまざまな場で開かれ、ビブリオバトル参加者どうしの新たな交流も生まれています。

## 書店や図書館でイベント開催!



左から、紀伊國屋書店本町店での初のビブリオバトル開催とブックフェア、11/3 文化の日のビブリオバトル首都決戦、京都大学図書館の国民読書年特別企画

## 新聞にウェブニュースに、メディアに続々掲載!



左から、紀伊國屋書店本町店でのビブリオバトルの様子(7/13 読売新聞 夕刊)、名古屋市立大学のサークルREAD(7/31 中日新聞)、首都決戦予選の様子(10/17 読売新聞)

## 最近のチャンプ本ピックアップ

ビブリオバトルで選ばれた書籍を続々紹介。秋の夜長にぴったりな一冊が見つかるかもしれません。YouTubeにアップロードされた紹介動画も必見!



黒田 龍之助 著  
『外国語の水曜日』  
京大情報学研究科のビブリオバトルで、@satzzさんが紹介しました。



春日武彦 著  
『ロマンティックな凶器は存在するか』  
ビブリオバトル首都決戦の予選ではなださんが紹介しました。



ローワン・ジェイコブセン著  
『ハチはなぜ大量死したのか』  
阪大Scienthroughビブリオバトルでやまねさんが紹介しました。